

授業科目	臨床神経学Ⅱ				
担当者	岩田 篤 (実務経験者)・津村宜秀 (実務経験者)			(オムニバス)	
実務経験者の概要	岩田 篤 (理学療法士として、慢性期病院での15年間の実務経験あり) 津村宜秀 (理学療法士として、急性期及び生活期病院での実務経験あり)				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

神経内科疾患は、診断名と臨床症状を対応させるような理解ではなく、脳の変性部位と臨床症状を対応させて理解することが鉄則です。つまり、疾患が違って脳の変性部位が同じなら、同じ臨床症状が生じるということです。神経内科疾患では、脳・神経各部の働きと神経路を理解し、そこが障害されたらどのような症候を呈するのかを理解することが重要です。この講義では、臨床神経学Ⅰの講義内容を踏まえた上で、神経内科疾患の臨床症状について解説します。

岩田 篤 (実務経験者)、津村宜秀 (実務経験者)

## ■ 到達目標

神経内科疾患の概要を理解し、特徴的な臨床症状がなぜ生じるのかを、神経機能解剖学的に説明できるよう。さらに、理学療法と関連し、どのようなメカニズムで障害が改善するのかも考察できるようになる。

## ■ 授業計画

- 第1回 臨床神経学の基礎  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第2回 脳梗塞の病理  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第3回 脳梗塞の神経症候のとりえ方  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第4回 脳内出血の病理  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第5回 脳内出血の神経症候のとりえ方  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第6回 くも膜下出血の病理と神経症候のとりえ方  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第7回 頭部外傷／てんかん／脳腫瘍の病理と神経症候のとりえ方  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第8回 多発性硬化症の病理と神経症候のとりえ方  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第9回 筋萎縮性側索硬化症の病理と神経症候のとりえ方  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第10回 パーキンソン病およびその他の錐体外路疾患の病理と神経症候のとりえ方  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第11回 脊髄小脳変性症の病理と神経症候のとりえ方  
岩田 篤 (実務経験者)
- 第12回 末梢神経障害の検査法  
津村 宜秀 (実務経験者)
- 第13回 ギランバレー症候群の病理と神経症候のとりえ方  
津村 宜秀 (実務経験者)
- 第14回 重症筋無力症の病理と神経症候のとりえ方  
津村 宜秀 (実務経験者)

第15回 筋疾患およびその他ニューロパチーの病理と神経症候のとらえ方  
津村 宜秀（実務経験者）

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）80%】小テスト 20%

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

前回の講義内容がどの程度理解できているか、次の講義の開始時に小テストを行いますので、前回の講義内容の復習を必ず行っておいてください。

## ■ 教科書

書名：病気がみえる vol.7 脳・神経  
著者名：医療情報科学研究所 / 編集  
出版社：メディックメディア

## ■ 参考図書

書名：神経解剖学講義ノート  
著者名：寺島俊雄  
出版社：金芳堂

書名：脳の機能解剖と画像診断  
著者名：真柳佳昭 / 訳  
出版社：医学書院

書名：脳卒中ビジュアルテキスト  
著者名：高木康行・他  
出版社：医学書院

書名：メディカルスタッフのための神経内科学  
著者名：河村満 / 編著  
出版社：医歯薬出版

書名：神経内科学テキスト  
著者名：江藤文夫・他 / 編  
出版社：南江堂

## ■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

## ■ 講義受講にあたって

DPとCPの関係は、ポリシーを参照してください。

この科目を理解するためには、「神経系の解剖学」「生理学Ⅰ～Ⅳ」「臨床神経学Ⅰ」の科目の理解が重要である。

また、「神経障害理学療法治療学Ⅰ」「神経障害理学療法治療学Ⅱ」へとつながる内容である。